

むくげのいえだより

介護老人保健施設むくげのいえ <http://www.mukugenioe.jp>
東京都足立区西新井本町1-25-36 TEL03-5838-0788

10月号
№56



新入職員紹介



支援相談員
堀江 瑞穂

①出身地 : 東京都足立区保木間
②血液型 : B型
③一言 : はじめまして。この度西新井病院より異動してまいりました、支援相談員の堀江と申します。むくげのいえではご入所されている方々とお話しする機会や、笑顔を見る機会が増えたのでとても嬉しく思います。今後も皆様のお力に少しでもなれたらと思いますので、何かありましたらご相談下さい。よろしくお願い致します。



施設長 益子 未任

介護老人保健施設
むくげのいえ

「新任のご挨拶」

七月より、むくげのいえ施設長として着任いたしました。どうぞ、よろしくお願ひ致します。これまで、西新井病院や成和クリニックの内科医師として勤務し、主として在宅訪問診療に携わってきました。訪問先では、当施設の通所リハビリテーションや、ショートステイを利用されている方々もいて、リハビリを頑張られていることを嬉しく話されたり、利用者の方や職員との交流が楽しく通っているなどのお話を、しばしば耳にしています。皆様が進み、楽しみにされている施設であることを知り、むくげのいえの役割は大きいと感じています。新型コロナウイルス・パンデミックの中、入所の際には一定期間の体温計測と記録をお願いしたり、自由な面会をお断りしたり、八月末には通所を一時休止とさせて頂いたり、皆様には長期にわたり大変ご不便をおかけしております。しかしそのような中でも、皆様には多大なるご理解とご協力を頂き、本当に有難く思っております。お陰様で、現在まで施設内での新型コロナウイルス感染症はなく、皆様お変わりなく過ごされています。今後も感染予防に留意しつつ、利用者の皆様の体力・基本動作力・生活力の獲得と維持、そしてさらなる向上を目指して努力してまいります。

「通所リハビリテーション」一時休業休止のお知らせ

むくげのいえのサービスの一つである通所リハビリテーションを令和2年8月31日(月)より一時休業することになりました。新型コロナウイルスの感染拡大が続いており、医療法人成和会の感染症対策の一環として通所リハビリテーションを7月28日より火・金曜日を休業していました。しかし、他の通所施設でクラスターが出るなど予断を許さない状況であった為、むくげのいえでは利用者様の感染リスクを軽減するため、断腸の思いで通所リハビリテーションをしばらくの間休業させて頂くこととなりました。再開の際は改めてご連絡させていただきます。何卒ご理解賜りたく存じます。

インフルエンザ予防接種のお知らせ

当施設では入所されている利用者様対象に、施設内でインフルエンザの予防接種を行います。区役所より「インフルエンザ予防接種予診票」が届きましたら、必要事項をご記入の上、施設窓口までご提出願います。予診票が送られてきても提出の無い方は実費となりますのでご注意願います。

衣替えと名前記入のお願い

秋も深まり寒さを感じる頃となりました。この季節、衣替えを行いますので秋冬の衣類のご用意をお願いします。ご持参頂く衣類には、必ずお名前をフルネームでご記入願います。すでにお名前を記入されていても、お名前が薄く見えにくくなっておりますので、今一度ご確認ください。

今後のレクリエーション活動予定

今年度はコロナ禍の影響で施設内のレクリエーションは縮小して行っています。恒例の大イベントである秋祭りは中止となりましたが、各階において食事会を計画中です。また、12月のクリスマス会ではバイキングを開催する予定です。このような状況下にあるため、少しでも利用されている皆さんに非日常な生活に触れて頂きたい、という思いで計画を進めております。

コロナ禍において、今思うこと

介護福祉士 今野 篤

中国で一月頃に新型コロナウイルスが流行り始め、緊急事態宣言が発令されたのが四月七日でした。一カ月経過し、五月二十五日に緊急事態宣言は解除されましたが、未だワクチンはみつからず、冬には更なる感染拡大が予想され、注意喚起されています。コロナ禍で窮屈な生活をしているとお考えの方も多いかも知れませんが、盛り上がりつつある分野もあります。食事のデリバリーやお持ち帰りシステム、買い物代行やインターネット上で行われる動画配信、ビデオ通話等々、この機に乗じて隆盛している新規サービスです。一方、古くから存在している活字という文化も再燃しており、読書ブームの到来とも言われています。私も、この自粛期間中に何冊か本を読みましたが、『スクラップアンドビルド』という芥川賞を受賞した小説も、その中に含まれていました。主な内容は、家族介護を題材としており、「死にたい」が口癖の祖父を楽にしてあげたいという歪んだ愛を持った孫が主人公の話です。捉え方によっては、介護に疲弊している孫や家族に共感することも出来ますが、私自身が幼少期に祖父の介護を率先してやっていた記憶があり、高齢者が好きで介護職を選んだという経緯もあるので、読み終えた頃には悲しくなっていました。この感情が世のマジョリテイであることを祈るばかりです。昨日は正解だと言われていたことが翌日には不正解に変わっている。めまぐるしく変化する情報に混乱することもありますが、身近な人を思えばどういった行動をとるべきか考え直す良い機会かもしれません。私は「奪い合えば足らぬ 分け合えば余る」という精神で、今後も心穏やかに生きていきたいと思っています。皆さんも体調を崩されませんようご自愛ください。

3階より

● 集団リハビリテーション ●

毎週木曜日に行っている「集団リハビリ」をご紹介します。今月の歌は“九州炭坑節”と“村祭り”。懐かしみながら思い思いに合唱されました。歌の後は棒を使っての棒体操です。皆さんできる範囲で頑張られていました。楽しみながら参加されているのが何よりです。



棒を持って、リハビリの先生のかげ声に合わせて運動すると、背中も肩も伸びてスッキリいい気持ち。



1階事務室より

● つばめのいえ ●

むくげのいえの建物の軒下には数年前よりつばめが巣を作っています。毎年来て産卵・子育てをしていたのですが、カラスに狙われここ数年姿を見せませんでした。しかし忘れずに今年は来てくれ、愛らしい姿を見せてくれました。孵った雛達の成長は早く、親や養育係のつばめが餌を運んで来ると、一斉に高い声で鳴いておねだりをしている様子は私達を和やかな気持ちにさせてくれました。



お腹空いたよ～。早くちょうだい！

用を足すときは外にしないとね。巣の中が汚れちゃう。

雛達は数日間飛ぶ練習をした後、旅立ってゆきました。巣は残っているのでも、来年も来てくれるといいですね。6月から7月までの約2か月間、新型コロナウイルス禍で閉ざされた私たちの心に、大空に飛び立とうと一生懸命なつばめの家族に幸せな気持ちを頂きました。



4階より

● 秋の味覚 焼き芋 ●

4階では焼き芋の飾りを作りました。出来上がりを見て、本物そっくりと大好評です。焼き芋は窓辺に吊るし、エレベーター横には柿の木の手貼り絵を飾りました。4階は季節の移り変わりを、秋の味覚を飾って味わっています。



ほし芋になっても美味しいと思うよ！

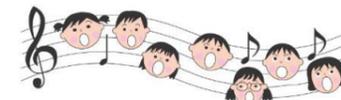
1個頂いちゃいましょうか



2階より

● 歌のレクリエーション ●

皆さん歌を歌うのが大好きです。2階では歌のレクリエーションを行っています。この日は秋にちなんだ“朧月夜”“赤とんぼ”をピアノに合わせて歌いました。「声を出して歌うのは気分が良い」と大変喜ばれました。



次は冬にちなんだ歌が歌いたいです！レパートリーをもっと増やしてまたやって下さい□

